

6/15号

論説

2023・6・15

住民の不安に答えよ



PFASの検査に活用される有機フッ素化合物(PFAS)による水の汚染が全国で相次ぐ。人の血液からも検出され、住民の不安は切実だ。国や自治体は汚染源特定や事故防止策を急がねばならない。

PFASは数千種類の化学物質の総称で、繊維用品や半導体製造などに幅広く利用されてきた。異物成分を検出する「永遠の化学物質」にも取られる。人体に蓄積して胎児や乳児への影響が懸念されている。

国環境省も2017年規制が始まった。2009年以降、日本でも製造業止む在留の監視が進むが、それ以前に土壌や地下水を通じて汚染が広がっていたと推測されている。

国環境省も2017年規制が始まった。2009年以降、日本でも製造業止む在留の監視が進むが、それ以前に土壌や地下水を通じて汚染が広がっていたと推測されている。

国環境省も2017年規制が始まった。2009年以降、日本でも製造業止む在留の監視が進むが、それ以前に土壌や地下水を通じて汚染が広がっていたと推測されている。

国環境省も2017年規制が始まった。2009年以降、日本でも製造業止む在留の監視が進むが、それ以前に土壌や地下水を通じて汚染が広がっていたと推測されている。

PFAS汚染

PFASの検査に活用される有機フッ素化合物(PFAS)による水の汚染が全国で相次ぐ。人の血液からも検出され、住民の不安は切実だ。国や自治体は汚染源特定や事故防止策を急がねばならない。

PFASは数千種類の化学物質の総称で、繊維用品や半導体製造などに幅広く利用されてきた。異物成分を検出する「永遠の化学物質」にも取られる。人体に蓄積して胎児や乳児への影響が懸念されている。

PFASは数千種類の化学物質の総称で、繊維用品や半導体製造などに幅広く利用されてきた。異物成分を検出する「永遠の化学物質」にも取られる。人体に蓄積して胎児や乳児への影響が懸念されている。

PFASは数千種類の化学物質の総称で、繊維用品や半導体製造などに幅広く利用されてきた。異物成分を検出する「永遠の化学物質」にも取られる。人体に蓄積して胎児や乳児への影響が懸念されている。